

事務事業名	掛合保育所保育業務委託事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名	石飛 和宏
施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	桑山 真知子	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2251
目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 意 図 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:11504 業名 1:01519 業名	認定	子ども園管理事業 掛合保育所保育業務委託事業
基本事業名	〈072〉子育てと仕事の両立支援				
目的	対 象 保護者 意 図 子育てと仕事を両立できる。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H26 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 平成26年度から掛合保育所(定員90名)の保育業務委託を行う。 現在3回目の業務委託期間中(契約期間:令和2年度~令和4年度) 委託先事業者:雲南市社会福祉協議会 入所申し込み、受入れの可否を照会。 可能な場合は、協議、委託契約書締結などを経て入所承諾をし、保育料を徴収する。国の定める保育単価に準じ、保育費用を支弁する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) ・保育業務委託契約(基本契約令和2年度~令和4年度)の締結、受託者との各種協議、掛合保育所運営協議会の開催(2回/年、保護者代表・委託事業者・市)、保育業務運営管理全般に関する指導・助言など ・毎月の保育費用(委託料)支払 ・保護者アンケート実施(基本契約初年度令和2年度と基本契約最終年度令和4年度で実施)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) ・令和3年度保育業務委託契約の締結、受託者との各種協議、掛合保育所運営協議会の開催(2回/年、保護者代表・委託事業者・市)、保育業務運営管理全般に関する指導・助言など ・毎月の保育費用(委託)支払			
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
ア	同施設入所児数(年度末)	人	92	83	80	80
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	掛合保育所入所児童	ア 同施設利用定員	人	90	90	90	90
		イ 同施設入所児数(年度末)	人	92	83	80	80
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	掛合保育所入所児童の心身ともに健やかに育成する。	ア 保育内容満足度	%	-	96.0	95.9	-
		イ ※↑運営協議会実施アンケート(委託期間中1年目と3年目)	0				
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
保育業務委託料:99,700千円 ※掛合保育所運営事業(維持管理費分)除く	財源内訳	千円	553	630	474	982
【財源内訳】 国474千円(一時保育、研修補助) 県2,458千円(一時保育、しますく、1・2子軽減、3子軽減) その他7,883千円(保育料、広域受託他)	国庫支出金	千円	2,249	1,958	2,458	2,742
	県支出金	千円	12,877	9,476	7,883	5,765
	地方債	千円	93,812	94,265	88,885	96,898
	その他	千円	109,491	106,329	99,700	106,387
	一般財源	千円	1	1	1	
	事業費計(A)	千円	107	107	107	
	正規職員従事人数	人	464	454	450	
	延べ業務時間	時間	109,955	106,783	100,150	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・掛合保育所入所児童について減少傾向にある。 ・平成29年度大東保育園業務委託化 ・平成30年度私立みなみかも保育園開園 ・令和元年度企業主導型保育園開園(ニチキッズ雲南) ・令和元年10月幼児教育保育無償化	・保育サービスの充実と行財政改革推進の観点から保育業務の民間委託が必要であるとの結論に至り、「公立保育所保育業務委託」を実施している。 ・令和元年度保育所型認定こども園(1号定員10名、2・3号定員80名)に変更。	・保護者アンケート結果によると満足度は高い。 ・保護者要望や運営協議会等による意見を尊重しながら対応を図る。 ・施設修繕要望については、施設修繕事業や小規模修繕事業により対応 ・医療的ケアを要する児童の入所希望あり(看護師配置必須) ※医療的ケア…人工呼吸器、痰吸引等

2 事後評価【SEE】

A	目的妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
		② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
		③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B	有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	入所基準(職員の配置・施設面積基準)について、児童福祉法等関係法令に基づき事業を実施しているため。
		⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	対象児童が他の保育施設へ入所しなければならないため。
		⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	児童福祉法に基づく措置制度のため。
C	効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	委託料については、国基準等に準じ算定し、かつ国基準に含まれている施設維持に必要な経費は、担当課予算に計上し、委託料から減じているため。
		⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	業務委託となり、すでに必要な業務のみを執行しているため。
D	公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	市内の保育を必要とする児童については、すべて対象となっているため。
評価の総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 比較的利用定員に近い入所児数のため、若干の受入れ枠が発生しており、掛合町外児童の受け入れ調整施設となっている(待機児童数の削減につながっている)。吉田保育所入所児について、土曜日の保育を掛合保育所で利用できる仕組みを構築することで、吉田保育所の入所児数を増加させる余地がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
保護者ニーズの動向や掛合保育所運営協議会等による意見を尊重しながら保育ニーズへの対応を図る。 ◎業務委託方式による事業者、保護者、市で構成する運営協議会を通じ、入所児童保護者が積極的に保育所運営に携わることに繋がっており、3者で子どもの育ちを支えている。 土曜日の合同保育の可能性について検討する。 ・現状を維持しながら、改善策を検討していく。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		